

民間事業者等と連携して行った事業一覧 (R7.4.1~R8.3.31)

I 大学との連携(6大学 20事業)

No.	包括連携先	連携項目	事業名称	事業内容	事業開始年月日	事業終了年月日	事業の対象				実績等	連携による効果	担当課		
							市民	事業者	職員	その他					
岩手大学(H14.11.25締結)															
1	岩手大学	その他	岩手大学女性のキャリア形成支援リカレントプログラム2025	県内企業でリーダーを目指す女性を対象にした講座のうち1回の運営(ベーシックコース、カリキュラムI)	R7.5.23	R7.5.23					○	参加者数延べ36人	論理的プレゼンテーションを学び、スキルアップへの意識向上につながった。	男女共同参画推進室	
2	岩手大学	産業振興に向けての支援・協力への対応	いわて盛岡シティマラソン2025	大会ボランティアに協力した。	R7.10.18	R7.10.19	○					○	参加者数7,986人	本イベントを軸に関係人口が拡大し、産業振興の一助となった。	スポーツ推進課
3	岩手大学	その他	地域課題解決共創事業「One+」	盛岡市の地域活性化や産業振興に資する取組を行う学生団体に対し、盛岡市・岩手大学連携推進協議会において、活動費(最大20万円)を支援するもの。	R7.7.1	R8.3.31						○	R7年度は、市担当部局と学生・大学教職員で意見交換等を行うキックオフイベントを開催することで学生団体からの申請を促進させた。学生団体2団体からの申請があり、特定テーマ提供担当課である、経済企画課と交通政策課がそれぞれの地域課題に対する取り組みを実施した。	学生団体の地域での活動を支援し、実践的な取組を通じて、地域との協創関係が深まり、学生の参画による地域活性化と地域人材の育成に寄与した。	ものづくり推進課
4	岩手大学	その他	盛岡市×岩手大学提携講義	盛岡市の魅力や社会課題、社会課題解決等に取り組む企業の活動、その活動に対する市の支援等を学ぶことにより、学生の盛岡市への愛着やリーダーシップを醸成した。	R7.8.28	R7.8.9.2		○	○		○	○	受講者34人(申込者60人、受講決定者39人)	地域の魅力や課題、企業の取組を学ぶ機会を提供し、学生の理解と愛着を醸成することができ、学生の課題解決意識やアントレプレナーシップの向上に資することで、地域人材の育成に寄与した。	ものづくり推進課
5	岩手大学	その他	岩手大学地域連携フォーラムin盛岡	岩手大学の研究シーズや地域での具体的な取組事例を紹介する中から、地域・企業と岩手大学との新たな連携機会を模索するフォーラムを開催した。	R7.10.31	R7.10.31	○	○	○	○			現地79人、web45人 計124人	研究シーズと地域ニーズの接続機会を創出し、新たな産学官連携の機会創出の場となり、地域におけるネットワークの強化と協創活動の創出に寄与した。	ものづくり推進課
6	岩手大学	産業振興に向けての支援・協力への対応	SCSKふるさと納税寄附金	SCSK株式会社が運営する「教育機関応援型プラットフォーム・SCSKのふるさと納税」を導入し、国立大学法人岩手大学への寄附を募集する。	R7.12.17						○		寄附件数(3月末まで):16件 寄附額(3月末まで):163,000円	「ふるさと納税」を通じていただく寄附は、岩手大学が実施する本市との連携プロジェクトの原資として活用され、盛岡市と岩手大学の連携による地域の発展と次世代の人材育成に直結する取り組みを推進することで、地域の未来づくりと学生の成長へとつながった。	ものづくり推進課

7	岩手大学	その他	学生と盛岡市議会議員との意見交換会 もりおかmiraiおでかけミーティング	盛岡市の未来をつくる中心的存在である若者に、選挙や政治及び身近な地方行政への関心を高めてもらおうとともに、まちづくりについてのさまざまな意見を聴取すること、政策提言につなげることを目的として、学生との意見交換会を開催した。	R7.11.20	R7.11.20	○			○	参加者数 学生:17人 議員:14人	学生と市議会議員とが直接対話することにより、学生にとっては地方議会を身近に感じ地域の展望を意識する学びの機会となったとともに、議員にとっては政策提言に必要となる若者の生の声を聞く機会となった。	議事総務課	
8	岩手大学	生涯学習社会における諸課題への対応	盛岡市社会教育関係職員研修の共催、講師派遣	岩手大学地域社会教育推進室との共催により、大学教授等による専門的な講義を受け、社会教育施設職員としての資質の向上を図った。	R7.11.13	R7.11.13				○	参加者数:24人(市社会教育関係職員)	社会教育について知識の習得や公民館事業の事例を聞くことにより見識が広がった。	生涯学習課	
9	岩手大学	環境問題における諸問題への対応	公民館主催事業への講師派遣	春は滝沢演習林、秋は御明神演習林と、2か所の岩手大学演習林を訪る講座を実施した。	R7.6.27	R7.10.10	○				参加者数延べ40人	それぞれの植生と人々のなりわいとのかわりに学んだ。	中央公民館	
盛岡大学・盛岡大学短大学部(H30.3.26締結)														
10	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	世界につながるまちづくりに関すること。	盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念シンポジウム 他	盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念に際し、同記念事業実行委員会に採択のもと、講義やシンポジウム等を実施した。	R7.7.25	R7.11.14	○			○	参加者数約155人	盛岡市・ビクトリア市姉妹都市提携40周年記念のもと、多くの市民に門戸を開き、留学や異文化交流に関する機運醸成を図った。	文化国際課	
11	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	いわて盛岡シティマラソン2025	大会ボランティアに協力した。	R7.10.18	R7.10.19	○			○	参加者数7986人	スポーツに対する市民の機運醸成につながった。	スポーツ推進課	
12	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	栄養・食生活と健康、地域福祉に関すること。	もりおかココカラダフェス2025講演会	市民の健康増進の推進のもと、「もりおかココカラダフェス2025」の一環として講演会を行った。	R7.10.1	R7.10.1	○	○		○		市民が糖尿病についての理解を深めるとともに、自身の生活習慣を振り返るきっかけとなった。	健康増進課	
13	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	栄養・食生活と健康、地域福祉に関すること。	女性・若者健康づくりランチタイムセミナー	もりおか健康21プランの一環として実施。学生も企画に参加し、ランチタイムに気軽に参加できる形で、女性の健康及びがん予防についての講話を、学生・教職員を対象として実施。	R7.10.24	R7.10.24	○			○	R7.10.24ランチタイムに実施。学生、教職員合わせて21人が参加	若者・女性の健康リテラシー向上につながった。	健康増進課	
14	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	地域及び産業の活性化に関すること。	学生と盛岡市議会議員との意見交換会 もりおかmiraiおでかけミーティング	盛岡市の未来をつくる中心的存在である若者に、選挙や政治及び身近な地方行政への関心を高めてもらおうとともに、まちづくりについてのさまざまな意見を聴取すること、政策提言につなげることを目的として、学生との意見交換会を開催した。	R7.11.18	R7.11.18	○			○	参加者数 学生:29人 議員:15人	学生と市議会議員とが直接対話することにより、学生にとっては地方議会を身近に感じ地域の展望を意識する学びの機会となったとともに、議員にとっては政策提言に必要となる若者の生の声を聞く機会となった。	議事総務課	
15	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	第42回盛岡大学公開講座	地域住民へ広く学習の機会を提供した。	R7.11.8	R7.11.8	○			○	参加者数約80人	市民へのリカレント教育推進につながった。	生涯学習課	
16	盛岡大学・盛岡大学短期大学部	文学、文化、スポーツ及び教育に関すること。	石川啄木記念館ワークショップ「わたしのお茶碗」	啄木の短歌を描きこんだオリジナルのごはん茶碗を製作するワークショップを実施した。(盛岡大学の啄木賢治研究会の学生がボランティアと一緒に参加)	R7.8.2	R7.8.3	○				参加者数72人	啄木への理解を深める場を提供でき、施設の周知にもつながった。	歴史文化課	
跡見学園女子大学(R4.3.24締結)														
17	跡見学園女子大学	産業及び文化の振興に関すること。	文京区学生と創るアグリノベーション事業	若手/女性農業者によるグループ化およびグループ活動促進に向けての方策調査研究	R7.4.1	R8.3.31	○	○	○		参加者数延べ14人	農業への知識・関心の向上や農業振興への意識向上につながった。	産業振興課	

拓殖大学(R4.3.24締結)													
18	拓殖大学	産業及び文化の振興に関すること。	文京区学生と創るアグリノベーション事業	「農業振興の課題解決にむけた取組の推進」として、下記のテーマに取り組んだ。 ・IoTによる農業支援 ・有害鳥獣防除の効果的な手法に関する研究 ・雁喰豆の付加価値の創造に関する研究 ・産直売店のイノベーションに関する研究 ・最先端スマート農業の導入に関する研究	R7.4.1	R8.3.31	○	○	○		参加者数延べ33人	農業への知識・関心の向上や農業振興への意識向上につながった。	産業振興課

日本女子大学(R6.8.23締結)													
19	日本女子大学	産業及び文化の振興に関すること。	文京区学生と創るアグリノベーション事業	雁喰豆の商品・加工技術の開発について	R7.4.1	R8.3.31	○	○	○		参加者数延べ20人	農業への知識・関心の向上や農業振興への意識向上につながった。	産業振興課

東京大学大学院農学生命科学研究科(R6.8.23締結)													
20	東京大学大学院農学生命科学研究科	産業及び文化の振興に関すること。	文京区学生と創るアグリノベーション事業	持続的な発展に向けた地域の農業生産と資源管理	R7.4.1	R8.3.31	○	○	○		参加者数延べ30人	農業への知識・関心の向上や農業振興への意識向上につながった。	産業振興課

II 民間事業者との連携(12事業者 45事業)

No.	包括連携先	連携項目	事業名称	事業内容	事業開始年月日	事業終了年月日	事業の対象				実績等	連携による効果	担当課
							市民	事業者	職員	その他			

株式会社岩手銀行(H28.3.17締結)

1	株式会社岩手銀行	前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要と認められる事項に関すること。	職員研修委託事業	市と包括連携先とで人事交流を実施した。	H30.4.1	未定		○	○		交流職員:各1人	双方の業務に対する理解の向上(民間手法の習得、行政施策への理解深化等)につながった。	職員課
---	----------	---	----------	---------------------	---------	----	--	---	---	--	----------	--	-----

2	株式会社岩手銀行	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること。	地方創生等に関する業務の研修生受入	市と包括連携先とで人事交流を実施した。 (株)岩手銀行から研修生を受け入れ、主にIT人材育成(スパルタキャンプ)及びスタートアップ支援(アクセラレータープログラム)による産業振興策を講じた。また、特産品振興協議会の事務局として、経営支援セミナーを開催した。	R7.4.1	R8.3.31	○	○			交流職員:各1人 市場開拓等事業補助金4件527千円 スパルタキャンプ 人数36人 アクセラレータープログラム 認定企業3社	市民や事業者(経営者・従業員)向けにスパルタキャンプを、広域事業者向けにアクセラレータープログラムをそれぞれ実施することにより、スキルアップや事業活動支援、新規取引につながる事業者間交流を図った。	職員課 ものづくり推進課
---	----------	--------------------------	-------------------	---	--------	---------	---	---	--	--	---	--	-----------------

3	株式会社岩手銀行	盛岡の魅力である歴史・文化・スポーツなどの取組の推進に関すること。	もりおか健康ウォークin海ごみゼロウィーク	運動のきっかけづくりや健康寿命の延伸を目的として、盛岡城跡公園を発着としたウォーキングイベントを実施した。	R7.6.1	R7.6.1	○	○			参加人数:113名	岩手銀行さんの広報・周知により、前回以上の申込を集めることができ、参加者の健康増進につながった。	スポーツ推進課
---	----------	-----------------------------------	-----------------------	---	--------	--------	---	---	--	--	-----------	--	---------

盛岡信用金庫(H28.3.24締結)

4	盛岡信用金庫	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること	「女性起業芽でる塾」への講師派遣(主催:盛岡市、もりおか女性センター)	起業・創業に興味のある女性を対象に「女性起業芽でる塾(全4回)を開催した。	R7.11.24	R8.1.24	○				参加者数延べ197人	起業に関する基礎知識やノウハウの習得につながった。	男女共同参画推進室
---	--------	-------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	----------	---------	---	--	--	--	------------	---------------------------	-----------

5	盛岡信用金庫	地場産業の競争力強化やしごとの創出に関すること	起業家塾for Beginnerへの講師派遣	起業・創業に興味のある方等を対象に「起業家塾for Beginner@もりおか」(全1回)を開催した。	R7.10.4	R8.3.7	○	○			参加者数:「起業家塾for Beginner@もりおか」(1回目)24名、(2回目)31名	参加者(起業に関心のある市民)の知識向上や創業機運醸成につながった。	ものづくり推進課
---	--------	-------------------------	------------------------	---	---------	--------	---	---	--	--	---	------------------------------------	----------

東日本旅客鉄道株式会社(R2.6.4締結)

6	東日本旅客鉄道株式会社	盛岡の観光振興及び魅力発信に関すること。	いわて・もりおか旅フェア2025の開催	東京駅でのイベント開催にあたり、PRブースに出展し、観光PRを共同で実施した。	R7.7.12	R7.7.13		○			来場者数:5,790人(2日間のべ)	首都圏から盛岡への観光誘客(来訪意欲)と盛岡市の認知度向上につながった。	観光課
7	東日本旅客鉄道株式会社	前各号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要と認められる事項に関すること。	盛岡駅西口複合施設整備調査事業	盛岡駅西口複合施設整備調査事業を実施し、民間主導による複合施設整備の可能性を検討した。	R7.4.1	R8.3.31		○			・関係者会議 9回 ・事務担当打合せ 10回 ・調査の実施 ・盛岡駅西口複合交通センター用地等の利活用に関する個別協定の締結 ・覚書に基づく費用負担の実施	市とJR東日本が所有する対象用地の利活用について、民間事業者から、複合施設整備への機能提案やリスク分担に係る意見を伺うことで、民間主導での整備・運営における課題や支障事項を認識し、今後の検討事項整理につなげることができた。	経済企画課
日本郵便株式会社(R2.7.10締結)													
8	日本郵便株式会社	安全・安心な暮らし及び住みやすい環境の実現に関すること	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供を行った。	通年			○			業務における見守りを実施した。	地域において支援を必要とする者を把握し、支援につなげるための体制をとることができた。	地域福祉課
明治安田生命保険相互会社(R4.2.15締結)													
9	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	行政サービス案内活動	明治安田生命の営業活動で関わる市民に対し、市の行政サービス案内し、必要なサービスに繋げる活動を行った。(情報提供している行政サービスの分野:健康増進、介護・認知症予防、子育て)	通年			○			行政サービス案内数延べ2,286人	行政サービスに関する市民の知識の向上や、市の関連施策のPRIにつながった。	企画調整課 長寿社会課 子ども青少年課 子育てあんしん課 健康増進課
10	明治安田生命保険相互会社	スポーツ振興に関すること。	2025シーズン・いわてブルージャズ盛岡スタジアム観戦MYパスポート	市の後援により「2025シーズン・いわてブルージャズ盛岡スタジアム観戦MYパスポート」を作成し、市民等を対象にスポーツ振興向上に向け配布を実施した。	R7.9.7	R7.11.14		○			訳1,500枚配布	地元サッカークラブの観戦者数向上とスポーツ振興向上につながった	スポーツ推進課
11	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	「明治安田Jリーグウォーキングin小岩井まきば園」	地域住民と地元のサッカークラブの選手と一緒に歩くウォーキングイベントを実施し地域の健康づくりをサポートした。(後援:岩手県・盛岡市・他自治体)	R7.9.27	R7.9.27		○	○	○	参加者数延べ232人	市民の歩数増加や運動習慣化(行動変容)を後押しをして、健康増進に貢献	スポーツ推進課
12	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	いわて盛岡シティマラソン2025	いわて盛岡シティマラソン2025に協賛し、大会当日いわぎんスタジアムにブース出展し、血管年齢測定やベジチェックを使用し測定会を実施した。	R7.10.18	R7.10.19		○			血管年齢測定器・ベジチェック・自律神経チェッカー・AGEsセンサーを使用し測定会を実施	市民の健康増進に関する意識向上に貢献	スポーツ推進課
13	明治安田生命保険相互会社	暮らしの安全・安心に関すること。	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供を行った。	通年			○			業務における見守りを実施した。	地域において支援を必要とする者を把握し、支援につなげるための体制をとることができた。	地域福祉課
14	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	健康測定会の開催	地域包括支援センター開催イベント時に、健康測定会を開催 ※仁王・上田、浅岸和敬荘、青山和敬荘、みたけ・北厨川地域包括支援センターとの協働	R7.5.13	R8.2.18		○			血管年齢測定器・ベジチェック・自律神経チェッカー・AGEsセンサーを使用し測定会を実施	市民の健康増進に関する意識向上に貢献	長寿社会課

15	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	大人の塗り絵コンクール後援	市の後援により介護・認知予防対策の一環としての「大人の塗り絵コンクール」第6回(5月26日～8月25)・第7回(10月27日～2月9日)を実施し、公民館、高齢者施設等で周知活動を行った。	R7.5.26	R8.2.9	○	○			盛岡支社応募数:第6回、1,637枚 第7回、1,948	市民の介護・認知予防対策の一環として意識向上に貢献	長寿社会課
16	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	MY定期講座の開催	地域包括支援センターとの協働により、高齢者を対象とした健康講座「睡眠と健康の知恵袋講座」及び「からだのなかから元気にいきいき血管講座」を開催した(健康測定会同時開催) ※盛岡駅西口及び松園・緑が丘地域包括支援センターとの協働	R7.10.2	R7.11.30	○				参加者計75名	市民の健康増進に関する意識向上に貢献	長寿社会課
17	明治安田生命保険相互会社	その他目的を達成するために必要な事項に関すること。	私の地元応援募金	市に対し健康増進・介護認知予防・子育て支援等に活用する「私の地元応援募金」(会社拠出+従業員募金)を寄付した。	R7.10.29	R7.10.29	○				1,365,795円を社会福祉基金へ寄付	市民の健康づくりや暮らしの充実に貢献	子ども青少年課
18	明治安田生命保険相互会社	子ども・子育て支援に関すること。	こどもまんなかアクション	「こどもまんなか応援サポーター」に登録	R7.12	R8.1			○		社内で周知	子育て中の人を応援する取り組みを進めた	子ども青少年課
19	明治安田生命保険相互会社	子ども・子育て支援に関すること。	共育フェスタ2025	道の駅「もりおか渋民」で開催した「共育フェスタ2025」で参加者向けに健康チェックイベントを実施した。	R7.11.19	R7.11.19			○		血管年齢測定器・ベジチェック・AGEsセンサーを使用し測定会を実施	市民の健康増進に関する意識向上に貢献	産業振興課
20	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	不来方大学院での講演	睡眠と健康について、市民向けに研修を実施した。	R7.5.15	R7.5.15	○				参加者数延べ4,088人	健康教育への関心を高めた。	中央公民館
21	明治安田生命保険相互会社	健康増進に関すること。	中央公民館来館者の血管年齢測定	来館者の血圧測定などの健康観察特設ブースを設けた。	R7.5.15	R7.10.17	○				参加者数延べ81人	健康教育への関心を高めた。	中央公民館
22	明治安田生命保険相互会社	子ども・子育て支援に関すること。	金融保険教育出前授業	人生100年時代における「自助(保険や貯蓄)の必要性」について学ぶ機会を提供将来を担う子どもたちの金融リテラシー向上をめざし、生命保険会社らしい地域貢献活動として実施した。	①R7.10.24 ②R7.10.30	①R7.10.24 ②R7.10.30			○		①盛岡市立北陵中学校 121名 ②盛岡市立青山小学校 103人	「自助(保険や貯蓄)の必要性」について学ぶ機会を提供将来を担う子どもたちの金融リテラシー向上に貢献	北陵中学校 青山小学校
23	明治安田生命保険相互会社	子ども・子育て支援に関すること。	「明治安田のハッピータウンメーカー」でSDGs教育	青山小学校3年生を対象にSDGs教育ゲーム「明治安田のハッピータウンメーカー」を使用し楽しみながらSDGsへの理解を深めた。	R7.2.27	R7.2.27			○		3年生(1組から3組)103名が参加	子ども達のSDGs教育の知識の習得につながった	青山小学校
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(R4.2.18締結)													
24	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	その他目的を達成するために必要な事項に関すること。	職員向け安全運転講習会への講師派遣	職員向けに安全運転に係る研修を実施した。	R7.12.22	R7.12.22			○		参加者数:職員27人	交通安全に対する正しい認識及び安全運転に必要な知識の習得により、職員の交通事故の防止につながった。	職員課
25	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	地域・暮らしの安全・安心に関すること。	盛岡市交通安全サマーコンサート	危険を予測し交通事故を防止する能力を高めるため盛岡市交通安全サマーコンサート来場者に対し交通安全危険予測シミュレーターの体験会を実施した。	R7.7.30	R7.7.30	○				体験人数:18人	交通安全に対する市民の知識や意識の向上につながった。	暮らしの安全課

26	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	地域・暮らしの安全・安心に関すること。	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供を行った。	通年									○				業務における見守りを実施した。	地域において支援を必要とする者を把握し、支援につなげるための体制をとることができた。	地域福祉課
27	あいおいニッセイ同和損害保険	健康増進に関すること	カムカム健康プログラム	参加者は、咀嚼力向上に着目した「カムカム弁当」を食べながら、口腔保健や栄養に関する講話を聴く、全6回の教室に参加するというもの。本部が運営する全国規模のLINEのオープンチャットに参加し、デジタル上でのつながりを通じて終了後も健康意識を維持する。初回と最終回には口腔機能測定とアンケートを実施。	R7.9.8	R8.1.26								○				1回目と6回目に滑舌チェックと咀嚼力スコアを確認し、いずれも改善が図られた。4か月半に渡る教室であったが、36人中32人が完了することができ、行動変容や意識付けにつながった。	オーラルフレイル予防をきっかけとした健康づくりに寄与した。	健康増進課
大塚製薬株式会社 (R4.3.10締結)																				
28	大塚製薬株式会社	災害時における対策に関すること	防災標語コンテスト	市内小中学校生及び一般市民を対象に、防災標語コンテストを実施した。	R7.6.1	R7.6.30								○				応募件数：一般の部 77点、小中学校の部 646点	防災教育や意識の向上につながった。	危機管理防災課
29	大塚製薬株式会社	健康づくりの推進に関すること。	学校保健会養護教諭部会研修会	養護教諭を対象にプレコンセプトケアの講話	R7.9.12	R7.9.12								○				養護教諭約60人	知識の向上につながった。	母子健康課
株式会社ヘラルボニー (R5.12.27締結)																				
30	株式会社ヘラルボニー	ふるさと納税の推進に関すること。	返礼品の新規掲載	ヘラルボニーの製品を盛岡市のふるさと納税返礼品として新たに掲載した。	R7.9.19									○				R7.9.19から計17品目の返礼品を掲載。	本市の返礼品ラインナップの拡充及び寄附額の拡大に寄与。	都市戦略室
31	株式会社ヘラルボニー	福祉を起点としたまちづくりに関すること。	耐震不凍給水栓ラッピング業務委託	おでつてに設置した耐震不凍給水栓の1号基に、ヘラルボニー契約作家が作成した、盛岡市水道事業90周年記念デザインアートをラッピングしたものの。	R7.4.22	R7.5.23								○				R7.6.6 お披露目式を実施 報道関係者14社20名や、市議会議員5名のほか多くの一般市民が訪れた。	アート作品として多くの方の目に触れることにより、市民の防災への関心と、福祉への理解を高めるきっかけとなった。	給排水課
NTT東日本株式会社岩手支店 (R6.8.30締結)																				
32	NTT東日本株式会社岩手支店	行政運営の効率化、生産性向上及び住民サービスの向上に関すること。	幹部職員向け研修会への講師派遣	市の幹部職員研修会において、岩手支店長による講演を行った。	R7.4.10	R7.4.10								○				出席者190人	DX推進に係る職員の知識の習得や意識の向上につながった。	企画調整課
33	NTT東日本株式会社岩手支店	行政運営の効率化、生産性向上及び住民サービスの向上に関すること。	総合計画審議会委員	総合計画に即した総合的かつ計画的な市政の運営に関する重要事項を調査審議する。	R7.10.1	R9.9.30								○				総合計画審議会委員会への参加	まちづくり全般や今後の方向性について審議会において審議を行った。	企画調整課
34	NTT東日本株式会社岩手支店	観光振興及び魅力発信に関すること。	盛岡さくらまつりに係る人流分析	盛岡さくらまつりに係る人流分析	R7.4.1	R8.3.31								○				人流データから来訪者の移動経路や滞実態を把握することができた。	「どんな属性の人が集まったのか」をデータで検証し、次年度以降のまつりの開催内容の根拠として活用できた。	観光課
35	NTT東日本株式会社岩手支店	安全、安心な地域づくりに関すること。	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供	利用者の自宅等訪問や来店の際など、通常の業務の中で異変を発見した場合の市への情報提供を行った。	通年									○				業務における見守りを実施した。	地域において支援を必要とする者を把握し、支援につなげるための体制をとることができた。	地域福祉課

36	NTT東日本株式会社岩手支店	その他目的を達成するために必要な事項に関する事。	高齢者eスポーツ体験会の実施	高齢者が世代や場所を問わず取組むことができる特性を持つeスポーツを体験し、生きがい創出・健康づくりに向けた企画・運営を行った。	R7.4.1	R8.3.31	○				65歳以上の盛岡市市民を対象に、生きがい創出、健康づくりを目的としたeスポーツ体験会を5回実施した。	eスポーツを通じて生きがい創出、健康づくり、デジタルバйд解消の向上につながった。	長寿社会課
三井住友海上火災保険株式会社 (R7.1.31締結)													
37	三井住友海上火災保険株式会社	地産地消の推進と盛岡産農畜産物の販路拡大に関する事。	地方創生eフェスタ	三井住友海上グループ社員を対象とし、自治体の名産品をWeb販売(職域通販)形式で販売した。	R7.9.2	R7.9.12	○				出品者:3社 販売数:20件 販売額:86,480円	出品により、盛岡産農畜産物のPRや販路開拓につながった。	農政課(食と農の連携推進室)
株式会社セブン-イレブン・ジャパン (R7.3.25締結)													
38	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	環境保全に関する事。	ペットボトル回収事業	盛岡市内のセブン-イレブン33店舗に「ペットボトル回収機」を順次設置・稼働し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目指すもの。	R7.4.1	R8.3.31	○				回収本数:136万本	市民が多く利用するコンビニ店舗の店頭での設置により、多くのペットボトルの回収につながっただけでなく、市民の意識の向上にもつながった。	資源循環推進課
39	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	食育の推進に関する事。	食環境整備事業(もりおか元気サポート店)	もりおか健康21プラン及び食育推進計画の一環として実施。野菜たっぷりメニュー等がある元気サポート店として、市内セブン-イレブン41店舗を登録し、市民の健康づくりを支援するもの。店舗は健康情報の発信も担う。	R8.3.25	当面は継続予定	○	○	○		本事業全体の市ホームページアクセス数及び店舗へのアンケートにより効果を測ることとしているが、登録日が年度末であり、R8年度末に効果確認予定。	市民が、食に関する健康情報を身近に得られることで、自然に健康になれるよう寄与した。	健康増進課
学校法人龍澤学館 (R7.6.27締結)													
40	学校法人龍澤学館	その他目的を達成するために必要な事項に関する事。	令和7年度国勢調査	学生調査員として調査業務に協力した。	R7.8.8	R7.11.7	○				21名が学生調査員として業務に当たり、50程度の調査区を担当した。	高齢化等による調査員不足を補い、円滑な国の統計調査の実施に貢献できた。	企画調整課
41	学校法人龍澤学館	その他目的を達成するために必要な事項に関する事。	税申告のオンライン化促進のための横断幕制作	盛岡市のオンライン申告の促進のために横断幕を作成した。	R7.10.21	R8.1.30	○				5名が盛岡市と連絡調整を行った。	申告期間の2月～3月まで盛岡市に作成した横断幕を設置する。	市民税課
42	学校法人龍澤学館	観光・スポーツの振興に関する事。	いわて盛岡シティマラソン2025	大会ボランティアに協力した。	R7.10.18	R7.10.19	○			○	参加者数7986人	スポーツに対する市民の機運醸成につながった。	スポーツ推進課
43	学校法人龍澤学館	地域経済の活性化に関する事。	地域DX共育プロジェクト	地域の読書文化を活性化するため、本好きのコミュニティを醸成するファンサイトを地域の書店と専門学校生が連携し開設するもの。	R7.5.1	R8.3.31	○	○			「文庫X」ファンサイトを専門学校生の卒業制作として開発。書店での実装はR8年秋頃の予定。	地域の書店と専門学校と行政が連携し、新たな地域活性化の芽が生まれた。	ものづくり推進課
44	学校法人龍澤学館	地産地消の推進と盛岡産農畜産物の販路拡大の推進に関する事。	学生レストランでの「盛岡りんご」活用メニューの提供	MCL菜園調理師専門学校で実施している学生レストランにて、「盛岡りんご」を活用したメニューの開発・提供を行った。	R7.9.29	R7.10.10	○				提供場所:学生レストランcréer 提供実績:300食/3日間(テイクアウト含む) 提供期間:令和7年10月8日(水)～10日(金)	学生レストランでの提供を行うことで、学生及びレストラン利用者に対し「盛岡りんご」のPRを行うことができた。	農政課(食と農の連携推進室)
45	学校法人龍澤学館	地域経済の活性化に関する事。	学生による道の駅もりおか浜民レストラン啄木亭の新メニューを考案	MCL菜園調理師専門学校の学生が道の駅もりおか浜民レストラン啄木亭の新メニューを考案し、1か月間限定で実際に料理を提供	R7.8.28	R8.2.21	○				提供場所:道の駅もりおか浜民レストラン啄木亭 提供実績:洋食啄木定食130食、浜民の恵みうどん90食 提供期間:令和8年1月22日～2月21日	岩手山、姫神山、石川啄木、浜民をテーマに、「冬の人気メニュー」を学生が考案し、学生および市民にPRできた。	産業振興課